

平成 30 年度 第 2 回 産業医科大学病院医療安全監査委員会

日時：平成 31 年 1 月 17 日（木） 14 時 00 分～16 時 00 分

場所：病院本館 3 階 中会議室

【監査事項】

1. 前回の監査委員会での提案事項、指摘事項の改善状況について
 - ①説明文書にかかる同意撤回書について
 - ②「重大な医療事故発生時の連絡体制における、医療安全管理部から
病院長へ直接報告するフロー図の改訂について
 - ③「業務改善計画書」タイトルの明記について
 - ④検査結果報告書見落とし防止対策について
2. 高難度新規医療技術に関する多職種の間わりについて
3. 高濃度カリウム製剤の使用について

平成 31 年 1 月 30 日

産業医科大学病院医療安全監査委員会

委員長 田中 芳明



平成 30 年度第 2 回産業医科大学病院医療安全監査委員会講評

※ 今回の監査委員会は、事前に通知した監査事項について、書類上運用状況について確認を行なった。まず、前回（平成 30 年 8 月 10 日）監査委員会での提案事項、指摘事項の改善実施状況の確認、特定機能病院承認要件にある「高難度新規医療技術に関する多職種の間わり」、病院機能評価でも重点評価項目となっている「高濃度カリウム製剤の使用について」、以上の内容について関係資料の提示、運用手順・フローチャートを用いた説明を頂いた。監査結果について以下に講評する。

1. 前回（平成 30 年 8 月 10 日）監査委員会での提案事項、指摘事項の改善実施状況の確認

① 説明文書にかかる同意撤回書について

「同意撤回書」の様式作成、運用をされていないのは法的には問題ない。患者が同意を撤回することを記録に残すにあたっては、患者へ説明する際に、すべての説明書に、同意撤回が自由にできることを明文化し、同意撤回の意志表示がある場合、その旨を診療録に記載することを提案した。また、多数ある説明書・同意書を見直し、600 種程度に集約されたのは大変評価に値するが、臨床研究に関する説明書・同意書について、病院としての把握の必要性については、今後検討して頂きたい。

② 「重大な医療事故発生時の連絡体制」における、医療安全管理部から病院長へ直接報告するフロー図の改訂について

資料からフロー図が適切に改訂されていることを確認した。

③ 「業務改善計画書」タイトルの明記について

事例の資料から、「業務改善計画書」のタイトルが明記されていることを確認した。

④ 検査結果報告書見落とし防止対策について

非常に難しい問題だが、病院機能評価受審、医療監視で必ず調査の対象になる。まず、電子カルテ上でアラートを出す等の対策をとっていることを全職員へ周知すること、また医療関係者のみでなく「患者参加型の医療安全」の対策を検討することを提案する。久留米大学病院（当院）が取り組んでいる、検査結果報告見落とし防止策を参照していただいても差し支えない。

2. 高難度新規医療技術に関する多職種の間わりについて

管理者（病院長）ガバナンスの確保の確認について

ガバナンスも含めて、申請方法、チェック体制など問題点はないが、可能であれば定期的な経過報告を、管理者に書面にて提出する体制をとることを提案する。

3. 高濃度カリウム製剤の使用について

適切に運用されていると判断する。投与するにあたって濃度や投与速度を明確に規定することを提案した。当院は原液投与を禁止している。一部署のみ原液の使用を認められているが、その点について廃止か制限するか検討されたい。